

- ◆企画名 KU サポーターズ夏季自主勉強会  
日 程 平成 27 年 9 月 22 日 (火) ～ 9 月 23 日 (水)  
場 所 総合学生会館凜風館 4 階 ミーティングルーム  
参加者数 12 名 (ピア・サポータ 9 名、研修生 1 名、職員 2 名)  
目 的

相談対応のロールプレイング、ケース検討、ストレスマネジメント、書類の書き方、企画、今後の役職をどうするかなど活動の方針、KU サポーターズの秋学期の活動についてメンバーでの話し合いの場を設ける。また、ほっこり相談室運営をはじめとした KU サポーターズの活動の質を上げるべく、ワークを通して各メンバーの技術の向上を図る。

#### 内 容

- ・ 3 回のミーティングを通して、秋学期の企画の内容と時期、2 人体制で相談室を開室するために必要な新たな内部研修、役職交代と交代の時期について話し合い、意見をまとめる。
- ・ 活動の質を高めるワークとして、これからの KU サポーターズでの活動において重要である、各書類の書き方、新たな内部研修の練習、新メンバーに対する研修の確認などを行う。
- ・ メリハリをつけるため、ミーティングや活動の質を高めるワークの間にメンバー間の協調性を高めるためのワークを 3 つ導入する。このワークを通して、肩の力を抜き、メンバー間の意見交換やコミュニケーションを円滑にする。

#### 効 果

ミーティングでは、意見を出しやすい雰囲気、誰もが積極的に意見を出していた。司会も受け身にならず、積極的に意見を求めて全体の流れをまとめていた。活動の質を高めるワークでは、活動していくうえで重要な心構えや必要な作業を振り返ることで、なぜそのような心構えや作業が必要なのか、全体が改めて認識する場となった。協調性を高めるワークでは、メンバー同士が互いの印象について話し合い、ゲームを通して協力することでメンバー間の距離が少し縮まり、今後の活動に活かしていくための協調性が向上した。また、当日の状況に臨機応変に対応するメンバーもいた。

#### 改 善 点

ミーティングでは、秋の企画について様々な発案がされたが、KU サポーターズの理念と企画の内容がかみ合わず、少し行き詰った感があった。また、役職や新たな内部研修についての話し合いでは、将来的なことなのでどんな事態が予測されるかをもう少し話す必要があった。活動の質を高めるワークでは、準備不足と感じるメンバーが目立った。当日のシミュレーションをするべきだと思われる。協調性を高めるワークでも、事前の打ち合わせや準備が不足していたと感じたメンバーが多かった。LINE で打ち合わせするだけでなく、集まって打ち合わせをするなどの対策が必要である。

#### 感 想

勉強会の雰囲気は真面目な雰囲気と楽しい雰囲気にメリハリがあり、一貫してよい雰囲気だった。メンバー全員が積極的に勉強会に参加していた。一方で、参加人数が少ないということや、これからどう活動していくのかについては新メンバーにとって不安な要素である。勉強会以外でも話し合いの場を設け、どう人を集めるか、企画の進行状況がどうなっているのか確認することが必要なのではないかと感じた。